

## 高信頼性ICタグ

# 表と裏のどちらからも

スイカに代表されるような非接触ICカード(これも無線でIDを読み取る技術を使っています)では、カードの表と裏のどちらからも読み取れるものとなっています。これはこれで無線技術の良い特徴の一つです。バーコードのように表からしか読めない、遮蔽があると読めない、汚れると読めないのとは大きく違います。

一方、金属タグと言って、紙やプラスチックではない強固な金属でガードしたICタグもあります。機械的に過酷な環境で使うものと言われますが、電波の侵入経路を確保したりするため、表面しか読めないものが多いようです。

電波だから、無線だからなんでも表も裏もないと思われるかも知れませんが、なかなかそうもいきません。強固なICタグで表から裏からも読めるICタグを(株)R&Vは真剣に開発しています。そしてそれは厚さ0.5mmから1mmのように大変薄いものです。

(株)R&V(当社)はICタグの信頼性をとことん追求し、それは世界にも類のないものを目指しています。